

2019

「かがわ第九」演奏会

～みんなで造ろう!! 香川の第九～

レクザムホール
大ホール

(香川県県民ホール)

11月3日(日・祝)

開演 14:00(開場 13:00)

入場料 一般 3,500円
学生 1,000円

(高校生以下)

ベートーヴェン 交響曲第9番 ニ短調作品 125 〈合唱付〉

Beethoven Symphony No.9 in D minor op.125 "Choral"

ベートーヴェン 「エグモント」序曲

- ・指揮/栗辻 聡
- ・独唱/高橋 薫子 小川 明子
上原 正敏 佐野 正一
- ・管弦楽/関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・合唱/香川第九合唱団 他

- 主催/香川第九実行委員会
- 共催/香川県、高松市
- 支援/公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団
- 後援/高松市教育委員会、さぬき市、普通寺市、土庄町、朝日新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、エフエム香川、FM815、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、産経新聞社、四国新聞社、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、香川こまち、高松リビング新聞社、ナイスタウン出版、全日本「第九を歌う会」連合会、非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル、香川日独協会



芸術文化振興基金助成事業

かがわ文化芸術祭 2019 参加公演



※入場券取扱所/県下有名楽器店各プレイガイド
●お問い合わせ先/〒761-1402 香川県高松市香南町由在 1382-33 中西久米子方
(TEL / 090-3789-8869)

イラストレーション 香川県立高松工芸高等学校
2年デザイン科 造田 知余

出演者プロフィール

指揮者

アツツ
葉辻

ソウ
聡



2015年、第6回ロブロ・フォン・マタチッチ国際指揮者コンクールで第2位を受賞し、一躍注目を浴びる。2011年、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻を首席で卒業し、音楽学部賞並びに京都音楽協会賞を受賞。その後、オーストリア国立グラーツ芸術大学大学院オーケストラ指揮科、スイス国立チューリッヒ芸術大学大学院指揮科を首席で卒業。在学中には、数々のオペラ公演やオーケストラ公演を指揮した。

これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団（チェコ）、フラデツ・クラローヴェ・フィルハーモニー管弦楽団（チェコ）、ムジークレギウム・ヴィンタートゥール（スイス）、バート・ライヒェンハル・フィルハーモニー管弦楽団（ドイツ）、聖クリストファー室内合奏団（リトアニア）、ルーセ・フィルハーモニー管弦楽団（ブルガリア）、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団（カナダ）、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、山形交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団等を指揮し、いずれも好評を博す。

これまでに指揮を、秋山和慶、尾高忠明、増井信貴、谷野里香、マルティン・ジークハルト、ヨハネス・シュレーフリ各氏に、オペラ指揮法をウォルフガング・ボジチ氏に師事。指揮講習会においてベルナルト・ハイティンク、デイヴィッド・ジンマン、エサベッカ・サロネン、アンドリス・ボーガ、鄭致溶、井上道義、湯浅勇治、飯森範親、沼尻竜典、下野竜也各氏から指導を受ける。

ムジカA国際音楽協会会員、公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽奨学生、2012年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション音楽奨学生。第28回京都芸術祭音楽部門亀岡市長賞受賞。奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師。

ソリスト

ソプラノ
タカハシ
高橋 薫子



国立音楽大学大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。イタリア声楽コンクールでシエナ大賞、没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞し、ウィーンフィルと共演。1991年からミラノ留学。『ドン・ジョヴァンニ』『コシ・ファン・トゥッテ』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』『ルチア』『愛の妙薬』『ロメオとジュリエット』『ランスへの旅』『ラ・ボエーム』『リゴレット』『泥棒かささぎ』『トゥーランドット』『タンクレーディ』『夢遊病の女』『カプレーティ家とモンテッキ家』等のオペラのほか各地でのリサイタル、宗教曲、第九などオーケストラとの共演においても高い評価を得ている。五島記念文化賞オペラ新人賞、ジロー・オペラ賞新人賞、村松賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、よんでん芸術文化奨励賞、ホテルオークラ音楽賞、香川県文化芸術選奨を受賞。藤原歌劇団団員。東京藝術大学、国立音楽大学講師。

国立音楽大学大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。イタリア声楽コンクールでシエナ大賞、没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクールでアンナ・ゴットリーブ賞を受賞し、ウィーンフィルと共演。1991年からミラノ留学。『ドン・ジョヴァンニ』『コシ・ファン・トゥッテ』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』『ルチア』『愛の妙薬』『ロメオとジュリエット』『ランスへの旅』『ラ・ボエーム』『リゴレット』『泥棒かささぎ』『トゥーランドット』『タンクレーディ』『夢遊病の女』『カプレーティ家とモンテッキ家』等のオペラのほか各地でのリサイタル、宗教曲、第九などオーケストラとの共演においても高い評価を得ている。五島記念文化賞オペラ新人賞、ジロー・オペラ賞新人賞、村松賞、モービル音楽賞洋楽部門奨励賞、よんでん芸術文化奨励賞、ホテルオークラ音楽賞、香川県文化芸術選奨を受賞。藤原歌劇団団員。東京藝術大学、国立音楽大学講師。

アルト
オガワ
小川 明子



東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁オペラ研修所第10期修了。1997年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」、ワーグナー「さまよえるオランダ人」などのオペラに出演。ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」「短調ミサ」などの宗教曲やベートーヴェン「第九」、マーラーの交響曲などで多くのオーケストラや合唱団と共演。また指導者、ヴォイストレーナーとして多くの合唱団と関わっている。

CD「日本歌曲選」「啄木とみずゝを歌う」「からたちの花 山田耕稼歌曲集」「荒城の月 国楽を離陸させた偉人たち」「さくら横ちょう 中田喜直4つの歌曲集」「早春賦 日本歌曲選2」「お菓子と娘 橋本國彦歌曲集」（ピアノ：山田啓明）「落葉松 アルトとギターで紡ぐ日本の歌」（ギター：荘村清志）をリリース。

1992年第61回日本音楽コンクール声楽部門第2位、1993年第4回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位（山田耕稼賞）。二期会会員。

テノール
ウエハラ
上原 正敏



国立音楽大学大学院声楽科修了。声種はリリコレッツェーロ。デビュー時に甘い声と高音を苦としない長身のテノールとして注目される。1992年よりイタリア留学。ミラノや近郊都市にてコンサート、オペラに出演し、パドヴァ「イリス・アダミ・コラッテッティ」国際コンクールを始めとする様々の国際コンクールに1位、入賞を重ねる。その後、ヨーロッパの名門ボローニャ歌劇場オーディションに合格し、同劇場にて本格的なヨーロッパデビューをする。また、ハンガリー・ブタペスト国際コンクールにて1位になったのをきっかけに、ボローニャ歌劇場、アレナ・ディ・ヴェローナ、ハンガリー国立歌劇場、ドイツ・オルデンブルグ市立劇場、フィナーレ・エミーリア劇場、サントリーホール、新国立劇場、二期会など国内外の劇場にて様々なオペラ、コンサートに出演。ニッカオペラ新人賞受賞、五島記念文化財団オペラ賞受賞。ピアノの大須賀恵里とCD「赤い靴 大人のための童謡曲集」をリリース、雑誌等に上げられ好評である。二期会会員。

関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年ヴェール室内合奏団として発足。1982年1月関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。1994年より国際的に活躍するウリ・マイヤーが常任指揮者に就任し、平成6年度大阪文化祭賞本賞を受賞。2003年より特定非営利活動法人、2014年より認定NPO法人化。2018年7月公益財団法人として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。平成22年度大阪文化祭奨励賞受賞。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年1月より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年1月より桂冠名誉指揮者に就任。

人間の営みから生まれた音楽…『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。また、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。演者と聴衆、舞台と客席、垣根を越えての交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。クラシック音楽の裾野を広げる活動など、明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。

2015年5月から6月にかけて、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー（合計5公演）を開催し、各地で大きな注目を集めた。現在、BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」（毎週土曜23時半）に藤岡幸夫と共に出演中。2020年には楽団創立50周年を迎える。オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

バリトン
サノ
佐野 正一



東京藝術大学卒業。卒業時、宮中の桃華楽堂にて御前演奏を行う。同大学院修了。日伊声楽コンクール及び日仏声楽コンクール第2位入賞。日本音楽コンクール二度入選。奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞受賞。二期会公演『ファルスタッフ』フォード役、宮本亜門演出『コズィ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役、小澤征爾指揮『フィガロの結婚』フィガロ役など話題になったオペラに多数出演。特に、ブッチー二作曲『外套』のミケレ役では、その心情表現を新聞評、音楽雑誌評にて絶賛された。1996年より『感動の第九』に参加、NYカーネギーホール、ウィーン音楽協会の他でソリストを務める。（公財）日本青少年文化センターの活動にも参加し、25年間にわたり、全国の小中学校でコンサートを行っている。ホテル椿山荘東京でのオペラディナーも21年目を迎える。現在、尚美学園大学、聖徳大学非常勤講師、さいたまシティオペラ副会長。日本演奏連盟、東京二期会、各会員。

